＜問い合わせ状況　2023 年 7 月＞

院外処方せんに関連する問い合わせ

当院は院外処方せんを発行しています。処方内容などに疑義が生じた場合の窓口は薬剤師となっており、月に 5～10 件程度の問い合わせに対応しています。7 月の疑義照会は 7 件で、内容は以下の通りでした。

●用法用量確認（3 件）

●その他（4 件）

・粉砕指示があるもので顆粒への変更希望

・今回不要と言われている薬あり

・・・など

薬に関する問い合わせ（患者・家族・施設より）

患者さんやご家族、施設の方からの質問にも対応しています。

7 月はお問い合わせが 3 件ありました。

●退院時にもらった薬を服用したら手のふるえが生じるが副作用か？

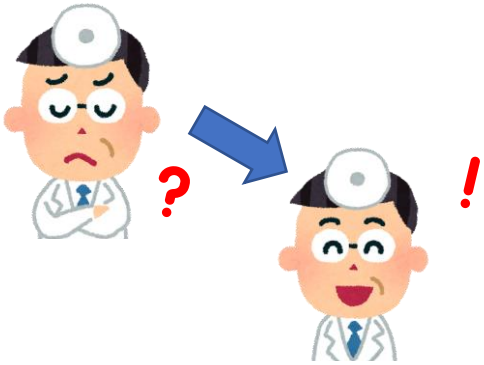
●退院時インスリングラルギンをもらったが、家にランタス注がある。そちらを先に使用して良いか

●（退院後に）入院中中止となっていた安定剤などはいつまで中止しておけば良いか

薬に関する問い合わせ（院内より）

他部署スタッフからの質問にもお答えしています。記録してある DI 室への問い合わせは、7 月は 9 件でした（病棟で直接質問されたことは未記載の可能性があります）。

◎がついたものについては回答を DI ニュース No.454 に記載しています。



●マドパー®錠の副作用でむくみがあるか？

→0.1～5%の割合で浮腫の副作用記載あり。

◎リフキシマ®錠は分包可能か？

●訪問薬剤管理指導を依頼する方法は？

→添付文書の備考欄にその旨を記載。

●ヴォリブリス®錠服用中にペースメーカーを挿入して良いか？ → 良い

◎ベタニス®錠は緑内障患者へ使用可能か？

●気切部感染に使用する塗り薬には何があるか？

→抗生剤の塗り薬は当院はゲンタマイシン軟膏などがある。

◎ビーフリード®注とミキシッド®注は混合可能か？

●マドパー®錠 3 錠/日を注射に変えるにはどうすれば良いか？

→ドパストン®注 25mg を 3A/日で開始して様子見